



子供たち先生方の笑顔のために

# 共に歩まん

壁面に掲示してご活用ください

令和5年9月13日発行

第14号

中信教育事務所

ご意見はこちら→ ←過去の「共に歩まん」はこちら

## シリーズⅡ「探究する授業への挑戦②」図画工作・美術編 「表現の学習は、問題解決をする学習そのもの」

### ・学習指導要領(平成29年告示)解説「美術編」より

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説「美術編」では、「表現の学習は、表したいことを基に『知識及び技能』と、『思考力、判断力、表現力等』を相互に働かせながら、問題解決をする学習そのものである」と記されています。子供1人1人がもつ表現欲求を大切にしながら、子供自ら「問い」や「願い」を見出し、試行錯誤しながら、自分なりの答えを求めて取り組む喜びを味わうための大事なポイントについて、小学校2年生の題材「カラフルいろみず」に沿って見ていきましょう。

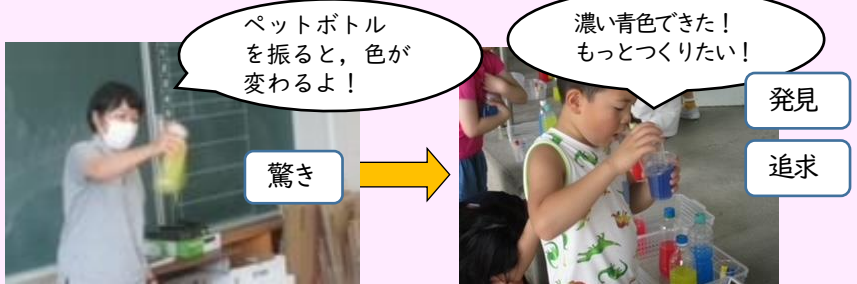
つな  
げる

### ・松川村立松川小学校2年生の題材「カラフルいろみず」(R5.7)より

#### Point 1 「やってみたい」「表したい」と自ら思えるような題材との出会い

そのために

- ✓ 教師自身があらかじめやってみて、題材に魅力を感じるかを確かめましょう。
- ✓ 材料や用具、作品等との心動かされる出会い方や学習活動を考えましょう。

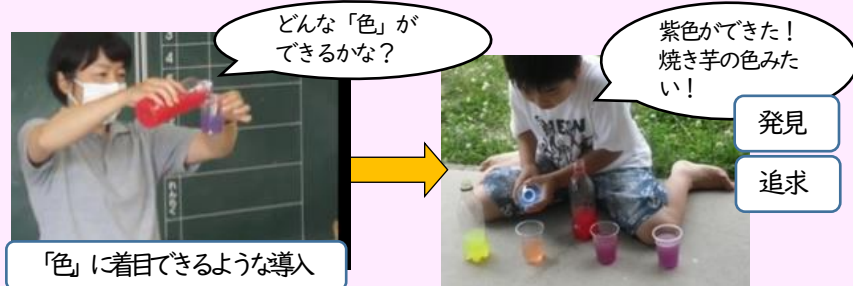


「おもしろそう」「やってみたい」など、ワクワク感や期待感をもてるのが大切です。そして、その題材に取り組む必要性を感じることで、自ら「問い」や「願い」をもつ姿につながっていきます。

#### Point 2 対象や事象を形や色などの「造形的な視点」で捉える

そのために

- ✓ [共通事項] から、本題材で理解する「造形的な視点」を明確にしておき、それらに着目しながら追求していけるような導入を位置付けましょう。



形や色などの「造形的な視点」に着目しながら解決に向けて考えたり、工夫したりしていくことは、「造形的な見方・考え方」を働かせながら試行錯誤し、答えを求めていく(自分としての意味や価値をつくり出していく)探究の過程そのものです。

#### Point 3 友達と情報を共有したり、多様な作品を参考にしたりする

そのために

- ✓ 個で追求したことを、友達と伝え合い、たいくするような題材展開を構想しましょう。
- ✓ ICTを活用して、多様な作品をいつでも参考にできるようにしましょう。



自分としての答えを求めて探究する過程で、多様な作品を見たり、友と情報を共有し、複数のアイデアを参考にしたりする場合は、自分としての答えを求めていくための情報収集や整理・分析の場になりそうです。

「探究する授業」のポイントは、子供が自ら「問い」や「願い」をもつことや、「造形的な見方・考え方」が働くこと、また複数のアイデアを参考にしていくことなんだね。そうすることで、子供の「発見」と「追求」が繋がっていくんだね。そんな子供の姿を思い浮かべながら、題材を構想していきたいね。

